

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領選挙に向けた動き

・15日、デリウ大統領選挙特別委員会委員長(自由民主党議員)は、規定の14日24時までに登録された大統領候補者が一名もいなかったため、18日に予定されていた大統領選挙実施日は延期される見込みである旨発言。

・18日、議会は、同日行われる予定であった大統領選挙の無効を確認、新たな大統領選挙実施日程を今後確定する旨決定。与党連合「欧州統合のための同盟」(AEL)議員は、共産党による12月15日の選挙実施提案を却下。

▼与党連合「欧州統合のための同盟」(AEL)の動き

・15日、フィラト首相(自由民主党党首)は、大統領候補者が推薦できなかったのは政治的意思の欠如によるものと発言、協議を混乱させている旨ギンブ自由党党首を非難。これに対し、ギンブ自由党党首は、フィラト首相自身が大統領就任を望んでいることに問題がある旨反論。

・15日、ルプ大統領代行(民主党党首)及びギンブ自由党首は、大統領選挙は12月中に実施するべきである旨発言。一方、18日、ストリレツ自由民主党議会会派代表は、1月中旬以降の大統領選挙実施を主張。

▼共産党の動き

・15日、共産党は、18日に予定されていた大統領選挙に候補者を選出しないことを決定。同日、ヴォローニン共産党党首は、AELが大統領候補者を選出できなかったことにつき非難、共産党はAELに対する全国規模の抗議運動を開始する旨発言。

・18日、ポストイコ共産党議会会派代表は、4日に共産党離党を表明したドン議員(前第一副首相兼経済・貿易相)他2名の議員資格剥奪を議会に要求。

・18日、ヴォローニン共産党党首は、ドン議員(前第一副首相兼経済・貿易相)他2名の共産党離党はフィラト首相による計画である旨指摘、AELは共産党との対話の必要性を主張しながらも、実質的な対話を拒否している旨非難。

▼世論調査

[公共政策研究所]

・次の日曜日に議会選挙が行われた場合の政党支持率
共産党:33.0%、自由民主党:18.1%、民主党:11.9%、自由党:7.8%等
・調査は10月22日から11月6日にかけて1,113名の成人

を対象に実施。標準誤差は2.9%以内の由。

2. 外政

▼レアンカ外務・欧州統合相のブリュッセル訪問

・14日、レアンカ外務・欧州統合相は、第5回モルドバのための欧州アクショングループ会合に出席するためブリュッセルを訪問。同会合では、モルドバがEUとの自由貿易協定交渉を開始するための国内改革及びビザなし訪問実施のための行動計画履行に関し協議。同外務・欧州統合相は、同会合の機会に、フィーレ拡大欧州近隣国政策担当欧州委員、ダッリ保健・消費者政策担当欧州委員、マルムストロム内務担当欧州委員と会談。フィーレ委員は、モルドバは東欧パートナーシップの機会を利用しEUとの関係強化に取り組んでいる旨発言。ダッリ委員とは、モルドバがEU水準の保健制度を得るための協力関係に関し、またマルムストロム委員とは、無査証渡航に関する協議を実施。

▼スロベニア外相のモルドバ訪問

・15～16日、ジュボガル・スロベニア外相は、スロベニア・モルドバ外交関係樹立以降、モルドバを初訪問、ルプ大統領代行及びフィラト首相等と会談。フィラト首相は、今次訪問により両国関係が更に進展することを確信している、また、スロベニアがモルドバの欧州統合へのプロセス支持に感謝する旨発言。

▼ポポフ外務・欧州統合担当副大臣のハンガリー訪問

・15～16日、ポポフ外務・欧州統合担当副大臣は、ネメス・ハンガリー外務次官の招きによりハンガリーを訪問。両者は、二国間・多国間関係、モルドバのEU加盟及び沿ドニエストル問題に関し協議を実施した。ネメス次官は、2012年1月のマルトニ・ハンガリー外相のモルドバ訪問予定を伝え、2012年初頭に欧州統合に関する両国間フォーラムを開催することで合意した。

3. 沿ドニエストル

・15日、露当局は、シモネンコ沿ドニエストル「外務次官」及びメリニク沿ドニエストル「中央選挙管理委員会」委員をモスクワ・シェレメチェヴォ空港内で約6時間にわたり拘束。これに対し、16日、沿ドニエストル「外務省」は、在モルドバ露大使館に事情説明を求める旨の親書を送付。

・18日、フィラト首相は、21日にベンデル市にてスミルノフ「沿ドニエストル」大統領と会談する予定である旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)